

報 道 資 料

平成23年1月6日
総務部知事公室
安全・安心まちづくり推進課
担当：倉田・山田
電話：0742-27-8576(ダイヤルイン)
0742-22-1101(内)2114

「平成22年度防災功労者知事表彰」を行います

本表彰は、平成17年度に創設し、地域の防災力の向上に貢献し、優秀な自主防災活動を行っている団体・個人について表彰するものです。今年度の防災功労者知事表彰の受賞は、**6団体**で、別紙のとおりです。

記

- 1 日 時：平成23年1月15日（土）14時10分～14時50分
- 2 場 所：奈良県社会福祉総合センター5階 研修室B・C
（橿原市大久保町320-11）
- 3 内 容：（1）表彰式
（2）活動事例発表

※表彰式は、「県自主防犯・防災リーダー研修」最終日に表彰し、受賞者の活動事例発表も予定しています。また、受講生に当日配布する活動事例集は、以下のホームページアドレスへ1月15日に掲載します。

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-8459.htm

※リーダー研修の中で表彰しているのは、受講生が今後、熱心に防災に取り組むことにより、自分たちも表彰されるというモチベーションを高めるねらいがあります。

【参考】

年度別表彰数

	団体数	個人数	合 計
平成22年度	6	0	6
平成21年度	6	0	6
平成20年度	4	1	5
平成19年度	4	0	4
平成18年度	2	0	2
平成17年度	9	1	10
合 計	31	2	33

平成22年度防災功労者知事表彰受賞団体(6団体)の概要たいしんまちじちかいじしゅぼうさいかい
○**田井新町自治会自主防災会** (大和高田市)

平成8年6月に結成し、今年で15年目を迎える。年1回の定期的な地区防災訓練を欠かさず行っており、災害時の迅速な情報伝達、救援活動を実施する組織体制、役割分担、防災資機材等の整備により、被害拡大の防止、軽減を図る。また、平成19年7月の集中豪雨で、多大の浸水被害を受けたことをきっかけに、平成22年1月に全域に防災情報を伝達できる災害用防災無線を新設し、住民の安全確保に努めている。なお、毎年、市・県が開催する防災研修等に、積極的に参加するなど、地域防災力の向上を図っている。

あすかのじしゅぼうさいかい
○**あすか野自主防災会** (生駒市)

平成12年12月に結成され、今年で11年目を迎える。毎年、消防機関等と連携し、200名を超える住民が参加し、防災訓練を実施している。今年度は、県の土砂災害に関する訓練を自主防災訓練とあわせて実施した。また5月には、講師を招いて、阪神・淡路大震災に関する講演会を独自で開催した。なお、先進地調査や防災センターへ視察を行うなど防災意識向上に努めている。

しやくどじしゅぼうさいそしききょうぎかい
○**尺土自主防災組織協議会** (葛城市)

平成19年11月に結成し、今年で4年目を迎える。「助け合う心が自分を守る」「みんなの力で尺土を守ろう」「備えあれば憂いなし」の3つのスローガンを掲げ、区長の下、活動計画に基づき、防災訓練等を地域一体となって推進する。組織の防災マニュアル、避難所・医療機関等配置図を作成し、防災訓練を実施している。終了後は、各班からの反省点発表を行うなど効果的な訓練が実施されている。また、防火訓練や勉強会を行っている。災害発生時に安否確認や救助など共助活動が迅速に行えるよう、隣組単位で区内全世帯の助け合い「絆」カードを作成した。

へぐりちょうばらんでいあれんらくきょうぎかい
○**平群町ボランティア連絡協議会** (平群町)

平成8年9月に設立され、防災活動をはじめとする様々な活動に取り組んでいる。取組みの中で、平成16年1月から行う「竹あかりの集い」は、阪神・淡路大震災の犠牲者の冥福を祈り、震災をきっかけに培われたボランティアの輪を広げ、防災の意識を高めることを目的としている。また、子どもの時から防災意識を高めるよう学校の協力の下、小学生に対してボランティアと中学生らの手作りの防災ずきんの贈呈も行う。さらに、同事業の運営について、実行委員会形式で準備を進めることにより、町内のさまざまな団体に向けた啓発の輪を広げている。

ももまたぼうさいだん
○**桃俣防災団** (御杖村)

平成17年6月に結成され、6年目を迎える。年間を通じて、地区住民全員参加をモットーに常に実践を想定した訓練や講習会等を行うとともに、定期的に発行する「防災だより」を通じて、家庭の防災意識の高揚に積極的に努めている。昨年台風襲来時には、地区内の災害時要援護者全員を迅速かつ安全に避難させるなど、その組織・行動力は、地域防災の要として欠かせないものとなっている。

かつらぎぼうさいかい
○**かつらぎ防災会** (王寺町)

平成17年10月に結成され、6年目を迎える。自治会内で防災会議を開催し、地域内の危険箇所の把握と自治会内で防災資源の把握に努めている。児童期からの防災に関する人材育成として子ども会との連携事業も行われている。また、自治会内の防災資機材を計画的に整備し、消火器の点検や消火訓練等の実地訓練も行っている。先進地視察として、野島断層保存館等の施設見学を行い、防災意識の高揚を図っている。